

## おばあちゃんのミッション

安田 彩乃

わたしの心の栄養は、おばあちゃんがくれるお手紙です。お手紙には、わたしがうれしくなる言葉がたくさん書いてあります。「毎日、学校をがんばっているね。」や、「来週、花火大会があるから来てね。」というものです。わたしは、おばあちゃんのお手紙を読むと、心がほかほかになって、元気がわいてきます。

そして、もう一つ。おばあちゃんのお手紙には、わたしが少しがんばったらたっせいできるやくそくが書いてあります。たとえば、「今日はお母さんのお手紙を三こしてね。」や、「ばんごはんは、いつもより一口多く食べよう。」ということ。わたしは、それを、「おばあちゃんのミッション」とよんで、いつも楽しみにしています。

ミッションがかなりようしたら、おばあちゃんに電話をします。おばあちゃんはいつもと、「すごいすごい。がんばったね。」

とほめてくれます。わたしは、おばあちゃんにほめてもらうことが、どんなごほうびよりもうれしいです。そして、次のミッションをもらうのが、楽しみで仕方ありません。

おばあちゃんは、たっせいできそうにないミッションは出したことがあります。「次の算数テストでは百点を取ろう。」ではなく、「今日は計算のまちがいを一つなくそう。」  
「明日は文章をよく読んで問題をとこう。」というように、一歩ずつミッションが進んで行きます。そして、いつのまにか、テストでも良い点数が取れているのです。これには理由があって、わたしのたっせいしたときのよろこびを何でも味わってほしいからです。たしかに、毎日ミッションをかなりようした方が、がんばろうという気持ちがつづくし、よろこびもたくさん味わえます。わたしが

「さすがおばあちゃん。わたしの事、何でも知っているね。」  
と言うと、

「ゆうしゆうなクライアントですから。」

と言ってわらっています。わたしは、その時のおばあちゃんのエ顔が本当に大好きです。

今月は、おばあちゃんの体調が悪くて、ミッションが止まったままです。だから今は、わたしがクライアントになって、おばあちゃんにミッションを出しています。今日のミッションは、「お日さまを一分間あびること。」です。おばあちゃんはミッションを楽しんでくれています。おばあちゃんからミッションかんりようの電話があるたび、わたしはうれしくてたまりません。おばあちゃんといっしょに、元氣を取りもどしている気持ちになります。こんなよろこびを味わせてくれるなんて、おばあちゃんはやっぱり、ゆうしゆうなクライアントです。わたしはこれからも、おばあちゃんのミッションをかんりようしながら、心も体もせい長していきたいと思います。おばあちゃんには、感しゃの気持ちでいっぱいです。

## 評価のポイント

ミッションを通して家族の絆を深めていく姿がとても素敵。心から感動できる作品。